

# 平成22年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	めいりん公園収穫祭事業				開始年度	平成15年度	
基本目標	活力ある農業の振興				終了年度		
担当課(局)	産業振興	担当係	産業企画	記入者	杉村靖之	評価者	長町信幸
21年度決算	276	千円	22年度予算	223	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	2,914 千円		22年度人件費	2,892 千円		事業従事者数	0.40 人 0.40 人

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	収穫の喜びを体験することで農業への理解を深めるとともに、採れたて農産物を食することで地産地消の推進を図る。
事業の内容	一般住民を対象に、総合交流ターミナル施設に隣接する体験農園において11月下旬に収穫祭を開催する。収穫作業及び収穫した農産物の試食を行う。

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 来場者数	収穫の喜びを体験することで、来場者数が増加する。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 関係者等との打合せ	農作物の作付や生育状況等について、5月から関係者と月2～3回打合せを行う。
	2 広報活動数	リーフレットの配布及び町広報紙によるPRを行う。
	3	

## ◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	来場者数	目標値	800	600	600
		実績値	860	500	
		達成率	%	107.5%	83.3%
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	関係者等との打合せ	目標値	10	10	10
		実績値	10	15	
		達成率	%	100.0%	150.0%
	広報活動数	目標値	3	3	3
		実績値	2	2	
		達成率	%	66.7%	66.7%
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

## ◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	食育・地産地消活動は、町が積極的に推進すべき事業である。健康福祉課の業務と重複する部分もあるが、農業振興と健康福祉の両面から、さらなる事業の充実を図りたい。協力者も多く、参加者にも好評のため、現時点で廃止は検討していない。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	事業開始から6年が経過し、事業の知名度も上がっているため、一定の来場者数を確保している。また、当事業を通じ、地域住民同士が交流を深め、農作業の一部を体験することで、食育や地産地消に対する意識の高揚が図られている。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	種苗の提供や農産物の調理等、地域住民やフードランナー等の協力が得られているため、比較的小額の経費で事業が行われている。H21～23年度は県の補助金も活用するため、町の負担は1/2である。より多くのボランティアを募ることで、一部経費の削減は可能である。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	生産者によるほ場の管理や趣向を凝らした食事の提供をフードランナー等が行うなど、地域住民との協働が図られている部分もある。さらに様々な団体に参加を依頼することで、新たな事業の方向性を見出せる可能性がある。

事務事業名	めいりん公園収穫祭事業	担当課(局)	産業振興
-------	-------------	--------	------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	都市と農村の交流という観点からも効果を上げている事業であり、コスト面において縮小を計りながら、地域住民との協働により事業内容の充実を行いながら、事業拡大を計っていく必要がある。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充		○		
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎公園の管理・事業の成果についてしっかり検証すべきである。 ◎明倫公園の活用と併せて広く周知する必要があると考える。
	コスト	現状維持	